NO.３７８　令和８年10月30日
発行　東大阪市教育センター

センター通信

「探究」と「対話」
「トライ＆エラー」



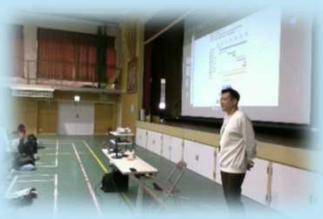
先生も子どもも、ともに学びあえる環境づくりへ　学びの環境づくり推進研修

10月20日（火）奈良教育大学大学院教授の小﨑誠二先生をお迎えし、校園内研修を推進する先生方が「子どもの主体的な学びを支える環境づくり」と「先生たちが高めあえる研修デザイン」について学びを深めました。

会場から寄せられた問いやAIとの対話を交え、参加者の様子に応じて内容を深めながら、共に創り上げていく時間となりました。グループワークでは、校種を越えて日頃の悩みや研修に対する思いを語り合いました。与えられた正解を探すのではなく、教職員自身が学びの主体となり、自校園の環境づくりを模索していました。

小﨑先生からは「社会が激しく変化する中だからこそ、過去の知識だけに頼らず、教師自身が常に学びをアップデートしていく責任がある」というメッセージをいただきました。高度専門職として主体的に対話や試行錯誤を楽しむ教職員の姿が、子どもの主体的な学びへとつながります。今回の気づきをそれぞれの学校園へ持ち帰り、先生も子どもも、ともに学びあえる環境づくりを広げていただければと思います。





（参加者の振り返りから）
・校内研修を変えていくためには、まずは自分が変わっていかないといけないんだなと実感した。
・自園の教職員とも今日のような時間を忘れるくらいのめり込めるような研修ができるように、もっと研鑽をしていきたい。

スポーツの秋！！　教育支援センター（ふれあいルーム）

10月９日（金）、ふれあいルームでスポーツ会を開催しました。

今年は、ルーム生が開会式などの司会の原稿を考えたり、実施競技の内容を考えたりするなど、子どもたちが主体となって創り上げる行事となりました。

当日は、たくさんの教職員や保護者が参観される中、子どもたちは協力して一生懸命に競技に取り組む姿が見られました。またルーム生が考えた競技には、誰もが安心して参加できる工夫が多くみられました。仲間を応援する声や拍手が自然と起こり、互いを認め合う温かな雰囲気の中、プログラムを進めることができました。

今年は「みんなで笑おう！楽しさ広がるスポーツ会！」をスローガンに取り組みました。ルーム生だけでなく参観された保護者や教職員にも自然と笑顔が広がり、会場全体が一体感に包まれるスポーツ会となりました。







（子どもたちの感想）
・みんなで種目を考えてつくるのが楽しかったです！！
・司会なんて出来るか不安だったけど、いろんな人と考えてうまくいった。
・いつもなかなかしないことをさせてもらえてうれしかったです。これからも色々なことをがんばろうと思いました。

（参観された教職員や保護者の感想）
・子どもたちの普段とは違った姿が見られてとてもうれしかったです。
・今日まで色んな事を考えて作り上げたスポーツ会、とてもステキでした。